



COMMUNICATION

レベルⅠ

令和7年度 教育委員会



援助的コミュニケーション研修



令和7年6月26日（木）



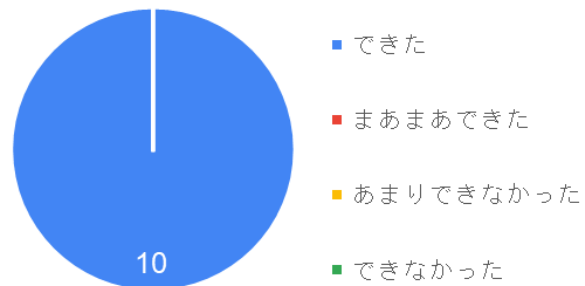
研修担当者：安田・松本・本多

研修企画者より（OJTにつなげてほしいこと等）

ペアワークでは、「話し手」と「聞き手」となり「傾聴」「共感」について、考えることができていたと思います。「沈黙の活用」について難しさを感じ、行動には移せていない状況です。「患者の言葉（思い）を受け取り、看護師として患者に返した行動に患者はどのような反応したのか確認をしてほしい。」と研修中に伝えています。病棟での支援よろしく申し上げます。

研修後アンケート

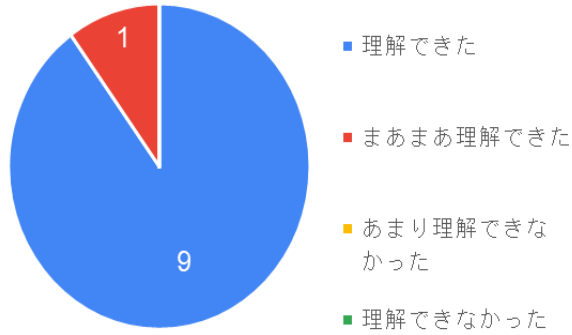
1. グループワークは積極的に参加できましたか



- 進んで、話すことができたと思う
- 意見を主体的に出せた
- 病棟でもどう接していいかわからないときがあったから
- わかりやすかった
- ペアでもグループでもそれぞれの意見を言って話し合いができました。
- 患者さんへの対応を今後どう行う事が患者さんにとって寄り添えることなのか考えることができたから
- 同期との研修で話しやすい雰囲気。自分自身が苦手な分野だから。積極的に学ぶ必要があった。
- 自分の意見を言うこともできたし、他の人の意見も聞くことができた。
- 課題に対して考えを持ちながら実施できたから
- 自分が思ったこと、感じたことをしっかりと話すことができた。

研修後アンケート

3. 研修の内容は理解できましたか

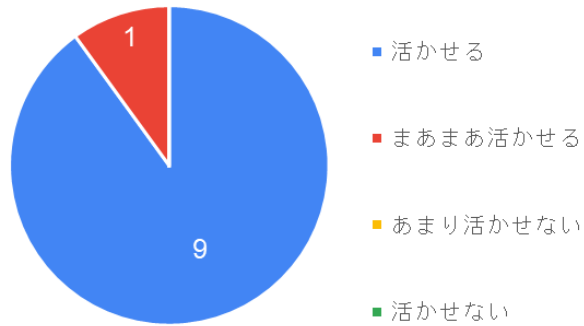


- 普通のコミュニケーションではなく患者さんの思いをどのようにして受け取っていくのが難しいと感じた半面、大切であると感じた。

- わかりやすく、理解できた。
- 病棟でもコミュニケーションが難しい人や認知機能が低下している人もいるため必要だと分かった
- 患者さんの思いをどうしたら受け止めて寄り添えるかわかった
- 師長さんの説明がわかりやすかった。みんなの意見が聞けてよかった。
- 師長さんの説明であったり、レジユメもそうですが、みんなで実際に話し合うことで理解がしやすかったです。
- 自身の患者さんへの対応を振り返りながら理解することができた
- 自分がコミュニケーションをとるうえで何をしたかも大切だが行動した後の相手の受け止め方も大切になると新たな学びになった
- 普通のコミュニケーションではなく患者さんの思いをどのようにして受け取っていくのが難しいと感じた半面、大切であると感じた。
- 病棟で業務をする上ですでに経験していることから研修から戻った後でも活かしていきたいと感じたから
- 傾聴や共感など、援助的コミュニケーションスキルについて学ぶことができたから。

研修生の意見等

5. 現場で活かそうですか



- ・実際に動画を見て、活かせるようにしたいと思った。
- ・看護師が聞いてくれているな、という態度は患者に伝わるため、患者が不安を表出できる・しても良いと思ってもらえるような看護師を目指したいと思いながら研修に参加できたため。
- ・時間に追われ、忙しくてあまり患者さんとの話すタイミングがない
- ・コミュニケーションは毎日とるので、ささいなことだが意識して当たり前になるようにしたい。業務に追われると疎かになる部分もあると思うので、気をつけたい。
- ・患者さんと向き合ってお話する機会がたくさんあるので、今日のことがとても活かせられると思いました。
- ・皆の意見を聞いて、患者さんへの関わり方をそれぞれ聞いてより活かせていけると思ったから
- ・コミュニケーションができるできない様々な患者多いから
- ・傾聴や共感的な態度を忘れずに患者さんの思いをしっかりと感じ取っていきたい。
- ・病棟の特徴として必要な事であるから業務に活かしていきたい
- ・コミュニケーションスキルを理解することができたから

研修後の感想

- ・自分の行動の振り返りに繋がって見直すことに繋がった。
- ・コミュニケーションに難しさを感じていたので、今一度、スキルを学べて良かったと思った
- ・ありがとうございました！